



ふじみ自然塾 だより

2017.10.17

第 14-3 号

発行；富士見市民大学
ふじみ自然塾
編集；同 企画運営スタッフ
発行日；不定期

1. 第6回講座 大根の種まき、ほか

9月16日13:30 関沢集会所へ集合。台風18号前衛の雨雲の影響で時々雨を予想。雨が降らぬ内にと、すぐに渋谷農園(三芳)へ移動し大根の種まき。種まき後、関沢集会所へ戻り、キュウリの採種実演と座学を行った。

農園では、全体を見渡して、栽培中の野菜について説明を聞く。続いて、大根の種まき実習。先ず、渋谷先生の説明と実演。今年は、これまでとは異なる新しい種まき方法で、マルチ穴の土を2cmほど圧して穴を作り、そこへ小さな間隔で5粒の種をまき、先生のチェックを受けてから土を被せ軽く鎮圧した。1畝30m分の種まきを行った時に小雨が降り出したが、大急ぎで残りの半畝分の種まきを行った。

集会所では、キュウリの種採り実演を行った。その後



写真①；大根の種まき

種の保管方法と寿命、種まき時に発芽率を上げるポイント、野菜の育て方など座学を行い、16:00に散会した。

2. 第7回講座(合同講座) 講演会

10月14日の第7回講座は、特別研修コースとの合同講座とし、13:30~17:00に鶴瀬西交流センター講座室&調理室で、nicoの会長の関野幸生氏に「タネからはじまる無肥料自然栽培～自家採種と連作で作物の生命力と土の偉力を最大限に活かす!～」というテーマでの講演&採種の実演をいただいた。

講演は、先ず、自己紹介に始まり、無肥料自然栽培への取り組みについて話された。

続いて、光合成と有機物、アンモニア・アミノ酸と窒素固定細菌などの話、それらと植物の生育についての話があった。自家採種と連作によって野菜が



写真②；講演会

環境に適応して、無施肥でも作物が育つとの由。また、無肥料自然栽培における適切な手入れ方法などの説明があった。

後半は、スライドを用いて、無肥料自然栽培で育った作物と手入れ方法を見せていただいた。さらに、今年から取り組んだ手製のセラミック浄水器と濾過水の作物に与える効能について説明があった。

講演後は、実習農場で採ったナスを用いて、採種取りの実演をしていただき、さらに、受講生等にも体験実習をしていただいた。

採種実習終了後、午前中に実習農場で収穫し、ゆでた枝豆を賞味し、お茶を飲みながら、質疑応答と懇談を行った。



写真③；採種実習